

## 簡易型フェイスシールドの寄付について

作業療法推進部代表 重田寛人

既にご承知の通り新型コロナウイルス感染拡大が世界規模で生じており、国内においても、医療資材の不足から医療機関、介護・福祉施設では、多忙による緊張とストレス、感染への不安を抱えながら仕事を従事している切実な状況が伺えます。

そこで、作業療法推進部では、新型コロナウイルスと戦う医療・介護従事者に対し、少しでもお役に立ちたいという思いから、飛沫感染を防ぐ簡易型フェイスシールドならびに作成手順書を作りました。食事介助や口腔体操、吸引時など飛沫感染のリスクが高い場面での使用を考えており、現在は、推進部員が作成した簡易型フェイスシールドを医療機関、介護・福祉施設に無償で寄付し、出来る限りの社会貢献を始めました。今後も、簡易型フェイスシールドのご希望がある施設に配布していく予定です。

新型コロナウイルス感染拡大という国難に対し、助け合いの輪が広がり、国民全員で乗り切っていける一助となれば幸いです。

最後に、新型肺炎でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、そのご家族の皆様へ心からお悔やみを申し上げます。また治療中の患者様の早期回復とこの事態の終息を心より祈念しております。